

【(公社)土木学会 技術賞(Ⅱグループ)】

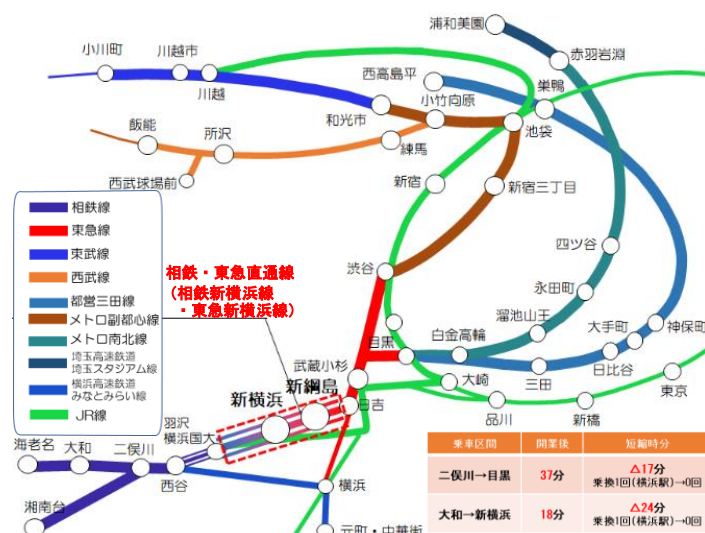
1. 「神奈川東部方面線(相鉄・東急直通線)の建設 (既存ストックを活用した総延長約 250 kmの広域ネットワークの形成)」

「神奈川東部方面線(相鉄・東急直通線)の建設(既存ストックを活用した総延長約 250 kmの広域ネットワークの形成)」が、(公社)土木学会の技術賞(Ⅱグループ)(※1)を受賞しました。

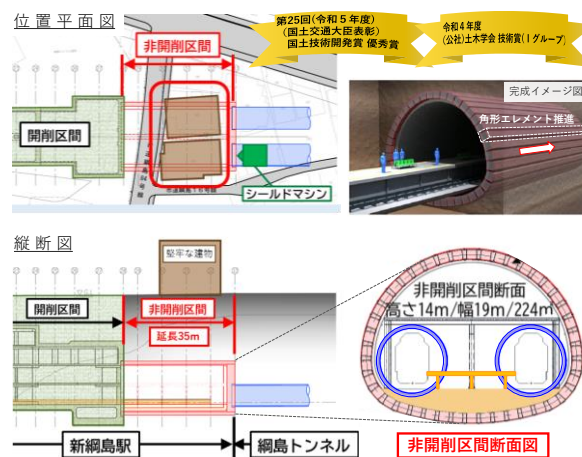
神奈川東部方面線(相鉄・東急直通線)は、令和元年11月に開業した神奈川東部方面線(相鉄・JR直通線)と合わせて都市鉄道等利便増進法に基づく速達性向上事業の最初の案件として計画され、令和5年3月に開業を迎えました。このプロジェクトにより、神奈川県央部及び横浜市西部と東京都心部とをシームレスに結ぶ鉄道7社局14路線、総延長250kmの広域ネットワークが構築され、首都圏の交通利便性が飛躍的に向上しました。

建設にあたっては、交通量の多い市道直下や地下鉄との交差部や住宅密集地域などの厳しい施工環境の下、周辺への環境影響を最小限とするために、都市部での大規模アンダーピニング工法による施工(※2、※3)や、角型エレメント推進工法の鉄道地下駅への適用(※4)など、各種の高度な技術的取組みを行い、土木技術の発展に貢献しました。

これらのプロジェクトの交通計画上の意義や社会的効果、新たな建設技術の導入が評価され、(公社)土木学会からの本賞の授与に至りました。



事業エリアと速達性向上の効果



新網島駅で適用した角型エレメント推進工法

- ※1 土木技術の発展に顕著な貢献をなし、社会の発展に寄与したと認められる画期的なプロジェクトに贈られる賞。
- ※2 駅前交差点直下における大規模アンダーピニング技術と工程短縮に向けた取り組みー相鉄東急直通線新横浜駅地下鉄交差部土木工事ー、令和元年度土木学会賞受賞。
- ※3 鉄道営業線高架橋の縦断的なアンダーピニングを伴う新線の建設 ～相鉄・東急直通線日吉駅付近工事～、令和4年度土木学会賞受賞。
- ※4 角型エレメント推進工法による鉄道駅部大断面トンネルの構築(相鉄・東急直通線、網島トンネル)、令和4年度土木学会賞受賞。

(参考) 令和5年度土木学会技術賞 説明動画(YouTube)

(<https://www.youtube.com/watch?v=HVC35cgxWM&feature>)